

STAGE+を楽しむ(157)(HP 収載)
—ベートーヴェンの《ミサ・ソレムニス》—

1. 始めに

前報(156)に引き続き、STAGE+のベートーヴェンの《ミサ・ソレムニスの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回はカラヤンのベートーヴェンの《ミサ・ソレムニス》の演奏を選びました。

カラヤンのベートーヴェンの《ミサ・ソレムニス》

ジョゼ・ヴァン・ダムらと共に

収録日: 1985年9月29日

20世紀のクラシック界を牽引した伝説的なカリスマ指揮者であるヘルベルト・フォン・カラヤン。彼はベートーヴェンの大作《ミサ・ソレムニス》を数回録音していますが、本映像でご覧いただけるのは4度目の録音となった1985年のものです。ジョゼ・ヴァン・ダムなど当時はまだ若手であった歌手たちを積極的に起用し、独唱はもちろん、重唱の隅々にいたるまで美しい響きに徹底的にこだわり抜いています。晩年のカラヤンならではの格調の高い演奏をお楽しみください。

ソリスト:

レツラ・クベルリ (ソプラノ)、ヴィンソン・コール (テノール)、トゥルデリーゼ・シュミット (メゾソプラノ)、ジョゼ・ヴァン・ダム (バスバリトン)

演奏:

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン楽友協会合唱団

指揮:

ヘルベルト・フォン・カラヤン

曲目:

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン ミサ・ソレムニス ニ長調 op. 123



カラヤンがベルリン・フィルと共に奏でるベートーヴェンの《ミサ・ソレムニス》

3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

また、CDクリーナーの効果(9)で報告しましたようにPCのストリーミング再生において、PCの液晶画面とLAN iSilencer とルーターに対するCDクリーナーの処理を行っています。今回も、スイッチングハブとルーターのLANポートにフェルトダンブ端子を装着しています。さらに今回も、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施しています。

1985年ベルリンフィル大ホールでの収録で、前報(155)のモーツァルトの《レクイエム》と同じく、カラヤン指揮による宗教曲です。

前報(155)同様、カラヤンらしい統率のとれた完璧を期するような演奏で、オーケストラもソリスト達の歌唱も1985年のライブ収録とは思えないほど、大ホールいっばいに、ソロヴァイオリンや歌唱の清らかな旋律から迫力に富んだ荘厳な表情までの演奏が響きわたります。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、LANポートにフェルトダンプ端子を装着し、さらに Brooklyn DAC+と仮想アース Crystal E との接続にアースアキュライザーを使用してみたことで、1985年の収録とは思えないほど、オーケストラもソリストの歌唱も荘厳な雰囲気が表現されていました。

以上